

授業科目 看護過程演習

【担当教員名】 長谷川 隆 雄		対象学年	2	対象学科	看護
		開講時期	前期	必修・選択	必修
		単位数	1	時間数	30
【概要・一般目標：GIO】 看護を実践するための問題解決や意思決定に必要な看護過程について理解し、その活用方法を習得する。看護過程の各段階（アセスメント、看護診断、計画立案、実施、評価）について学び、事例を用いて看護過程を展開し、看護実践における活用方法を修得する。					
【学習目標・行動目標：SB0】 1. 看護における看護過程の意義について説明できる。 2. 看護過程の各段階（アセスメント、看護診断、計画立案、実施、評価）について説明できる。 3. ロイ適応モデルの支持理論およびモデルの概要について説明できる。 4. ロイ適応モデルに基づく看護過程の構造と機能について説明できる。 5. 看護過程の記録用紙の活用方法について説明できる。 6. 事例を用いて看護過程の展開ができる。 7. 事例における看護過程の展開を発表し、ディスカッションを通して看護過程の理解を深めることができる。					
回数	授業計画・学習の主題			SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1-5	1. 看護における看護過程の意義 2. 看護過程の各段階 3. ロイ適応モデルの支持理論およびモデルの概要 4. ロイ適応モデルに基づく看護過程の構造と機能 5. 看護過程の記録用紙の活用方法			1 2 3 4 5	講義 講義 講義 講義 講義
6-13	6. 事例を用いて看護過程を展開 ・個人およびグループで事例について学習し、看護過程を展開する			1-6	演習（基礎看護学全教員）
14	7. グループ発表			1-7	発表会（基礎看護学全教員）
15	8. まとめ				講義
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)	基礎看護学[2] 基礎看護技術Ⅰ ロイ適応モデルによる看護実践 ガイド 診断・介入・評価		藤崎郁 江本愛子 編 他	医学書院 メヂカルフレンド	2006・2,600円＋税 1998・2,400円＋税
	ザ・ロイ適応看護モデル ロイ適応モデルに基づく看護過程		松木光子監訳 井手信監	医学書院 ヌーベルヒロカワ	2002・4,500円＋税 1999・2,940円
その他の資料		配布資料			
【評価方法】 出席状況：20% 看護過程の展開内容：50% 課題レポート：30%			【履修上の留意点】 本演習の学びをもとに、基礎看護学実習Ⅱでは実際の患者を受け持って、看護過程を展開するので確実に修得する必要がある。		